

2021（令和3）年度事業並びに決算の概要

本互助組合は、本県における教育文化の発展と組合員の福利厚生の上昇を図るため、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」に基づき、各種事業の自主的・自律的な運営に努めているところです。

新型コロナウイルス感染症の流行から2年以上が経過し、未だ収束の兆しが見えない中で、各学校では様々な感染症対策や教育の情報化の推進により、子ども達の健やかな学びを保障する努力が継続的になされています。このような中、教職員の福利厚生事業を担います本互助組合の役割は、ますます重要となっています。

一方、資産運用面において、外国債券については、為替相場が円安ドル高で推移したことによる為替差益を得ることができましたが、為替相場は様々な要因で大きく変動すること、また、日本銀行の低金利政策維持により、定期預金等の利息収入が殆ど見込めない状況が続いていることから、資産運用環境は厳しい状況にあります。

2021（令和3）年度決算については、経常収益合計が1,020,775,711円、経常費用合計が974,851,281円、評価損益合計が△3,301,731円、経常外費用合計が2円、当期における一般正味財産については42,622,697円の増となっており、当年度の一般正味財産期末残高は2,478,523,212円となりました。

今後も、定期預金等の金利は、非常に低い水準での推移が見込まれることから、収支の均衡を図りながら健全な財政運営に努めてまいります。

【事業執行の概要】

- 1 公益文化事業について、鹿児島県教職員共助会との共催により、スクールコンサートを鹿児島市喜入地区、始良市始良地区及び薩摩川内市祁答院地区の小学校9校、中学校5校において実施しました。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった学校で、希望される学校については、2022（令和4）年度開催の予定です。
- 2 給付事業について、「地方公務員法の一部を改正する法律（定年引上げ関係）」の成立を受け、定年引上げに伴う正味財産の減少を緩和するため、医療補助金給付率の見直し（令和5年度以降施行）を行いました。
貸付事業については、組合員の皆様が利用しやすいよう、また、課税等への対応から貸付年利率を引き下げました。（令和4年1月から全種別1%）
- 3 健全な財政運営を確保するため、経済等の動向を注視しつつ幅広く情報収集を行うとともに、資産構成と運用方法を検討しながら、より安全かつ効率的な資金運用に努めました。